

株主優待のご案内

本年9月30日現在の株主様から
ご優待内容を拡充してお送りしております。

年2回
発送

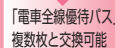
3月31日現在の
株主様
9月30日現在の
株主様

5月末 送付
(有効期間6月～11月)
11月末 送付
(有効期間12月～翌年5月)

株主優待乗車証

ご所有株式数	電車全線 優待乗車券(※1)	優待バス (※2)
1,000株以上 ～30,000株未満	1,000株につき 4枚	—
30,000株以上 ～57,000株未満	30枚	電車全線 優待バス 1枚
57,000株以上	40枚	電車・バス全線 優待バス 1枚(※3)

New 60,000株以上ご所有の株主様は所有株式数に応じて、ご希望により「電車・バス全線優待バス」を「電車全線優待バス」複数枚と交換できます。



「電車全線優待バス」
複数枚と交換可能

ご所有株式数	通常	交換枚数
60,000株以上～	電車・バス全線 優待バス 1枚	電車全線優待バス 2枚
100,000株以上～		電車全線優待バス 3枚
150,000株以上～		電車全線優待バス 4枚
300,000株以上～		電車全線優待バス 5枚
500,000株以上～		電車全線優待バス 7枚
1,000,000株以上～		電車全線優待バス 10枚

※1 1枚につき持参人御1名様が1回限りご利用いただけます。

※2 持参人御1名様がご利用いただけます。

※3 京王電鉄バス、京王バス東、京王バス中央、京王バス南、京王バス小金井各社の路線をご利用いただけます。なお、高速バス・空港直行バス・深夜急行バス等特殊バス、西東京バスはご利用になれません。

株主優待割引券 1,000株以上

※持参人様にご利用いただけます。

京王百貨店 お買物金額10%割引 1,000株以上～5,000株未満…10枚 5,000株以上～10,000株未満…20枚 10,000株以上…30枚	京王プラザホテル チェーン 宿泊20%割引 飲食サービス料(10%)無料 1,000株以上～10,000株未満…10枚 10,000株以上…20枚	京王観光 キングツアー 5%割引 その他のパッケージツアー 3%割引 1,000株以上～10,000株未満…10枚 10,000株以上…20枚	京王ストア (京王ストア・キッチンコート) New お買物金額100円割引 1,000株以上…10枚
京王自動車 (京王タクシー) New タクシー運賃100円割引 1,000株以上…3枚 (車検・点検・整備) 工賃10%割引 1,000株以上…2枚	京王運輸 引越料金20%割引 1,000株以上…2枚	京王アートマン ボリュームUP! お買物金額10%割引 1,000株以上…10枚	京王食品 (ペーカリーショップルバ・BAKERY&CAFE ルバ) お買物金額10%割引 1,000株以上…10枚
京王グリーンサービス (フラワーショップ京王) お買物金額10%割引 1,000株以上…10枚	京王不動産 売買仲介手数料10%割引 1,000株以上…1枚	京王レクリエーション New (京王テニスクラブ) テニススクール入会金無料 入会初回月会費50%割引 貸テニスコート料20%割引 1,000株以上…5枚	京王フローラルガーデン アンジェ New 大人入園料100円 (通常500円を割引) 1,000株以上…4枚

5,000株以上 京王グループカレンダー(引換券) ※9月30日現在の株主様のみ年1回。



2009年度 中間報告 2009.4.1～2009.9.30

INVESTOR'S GUIDE

けいおう

証券コード：9008

INVESTOR'S GUIDE けいおう 2009年11月発行

発行／京王電鉄株式会社 経理部
〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1
京王ホームページ www.keio.co.jp/

■IR情報についてのお問合せ

経理部企画担当 ☎042-337-3166

■株主優待についてのお問合せ

法務部法務担当 ☎042-337-3114

■電車の運賃や時刻、沿線のイベント情報についてのお問合せ

京王お客さまセンター ☎042-357-6161

9:00～19:00 (年末年始の12月30日から1月3日は休業)



KEIO 京王

「信頼のトップブランド」を目指して

「安全の確保」と「沿線価値の向上」へのたゆまぬ努力

2009年度
京王グループ経営計画

- 重点施策1 鉄道事業のさらなる安全性の向上
- 重点施策2 沿線価値の向上
- 重点施策3 競争力の強化

重点施策1 鉄道事業のさらなる安全性の向上

ATC(自動列車制御装置)の整備

列車運行のさらなる安全性向上を図るため、京王線・井の頭線全線で信号システムのATC化を進めています。京王線と井の頭線で機器の設置を進めたほか、相模原線に続いて本年6月には京王線においても夜間試運転を開始しました。今後も引き続き機器の設置工事や試運転を順次進め、2010年3月に相模原線でATCの使用を開始します。

駅舎改良工事の推進

駅のバリアフリー化を目的として、芦花公園駅、百草園駅、永福町駅の3駅でエレベーターなどバリアフリー設備や自由通路を備えた橋上駅舎化工事を進めました。今後



永福町駅【完成予想図】

も引き続き工事を進め、永福町駅では2010年3月に橋上駅舎化を完了し、バリアフリー化を図ります。また、新たに千歳烏山駅や東府中駅などでエレベーターの設置や橋上駅舎化など駅舎改良工事に着手し、2010年度までに全駅のバリアフリー化を目指します。

新造車両の導入

バリアフリー化と省エネルギー化を図るため、京王線9000系車両60両、井の頭線1000系車両20両を新造し、営業運転を開始しました。引き続き井の頭線1000系車両25両を新造します。



京王線 9000系車両

調布駅付近連続立体交差事業の推進

18ヵ所の踏切をなくすため、調布駅付近連続立体交差事業を進めています。2台のシールドマシンによるトンネルの掘進を進め、国領駅～調布駅間の上下線トンネルおよび調布駅～西調布駅間の上り線トンネルの掘進を完了しました。また、調布駅などの駅部で掘削工事や躯体構築工事を進めました。今後も引き続き相模原線の調布駅～京王多摩川駅間でシールドマシンによるトンネルの掘進を行うなど工事を進め、2012年度の完成を目指します。

調布駅西側に到達したシールドマシン
(調布駅～西調布駅間の上り線が貫通)

「信頼のトップブランド」を目指して、
「安全の確保」と「沿線価値の向上」への
諸施策を着実に推進しております。

京王電鉄株式会社 代表取締役社長

永田正



平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

当上半期の京王グループは、鉄道事業の安全性向上など中長期的な視点に立った設備投資を引き続き積極的に行うとともに、沿線価値の向上に向けた着実な事業活動を展開いたしました。しかしながら、長引く景気の悪化や新型インフルエンザ発生の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の純利益は79億円となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき3円といたしました。今後も、中間配当金を含む年間配当金を6円とすべく、利益の確保に努めてまいります。

「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」の実現に向けた取り組み

京王グループでは「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」の実現を目指して「鉄道事業のさらなる安全性の向上」と「沿線価値の向上」、そして「競争力の強化」を経営の大きな柱として取り組んでおります。

昨今の厳しい経営環境においても、「安全の確保」を最重要課題と位置づけ、鉄道事業で「運輸安全マネジメント」の推進や、ATC(自動列車制御装置)の整備を進

めるなど、「さらなる安全性の向上」に努めております。また、駅や車両のバリアフリー化を実施し、より安心で快適な輸送サービスを提供するとともに、調布駅付近連続立体交差事業などの大規模工事を推進してまいります。

「沿線価値の向上」への取り組みでは、沿線拠点を中心に、既存の賃貸物件の建て替え、リニューアルを進めるとともに、新しい商業施設を沿線に展開したほか、「京王ほっとネットワーク」を拠点とした、生活サポートサービスの充実を図りました。沿線を活性化し、魅力を高めるこれらの諸施策を積極的に展開することで、将来にわたって当社沿線が活力を維持できる基盤づくりを、引き続き進めてまいります。

そして、安定した収益を見込める稼働中の不動産賃貸物件の取得や、グループ事業での新規出店の推進など、「競争力の強化」にも努めてまいります。

今後も、京王グループの企業理念である「信頼のトップブランド」の確立を目指して、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年11月

住んでももらえる、選んでももらえる沿線づくり

京王グループでは「住んでももらえる、鉄道事業での取り組みのほかに、グループ全社をあげて沿線価値の向上や選んでももらえる沿線」を目指して、競争力の強化に取り組んでいます。

重点施策1 鉄道事業のさらなる安全性の向上

詳細は3ページをご覧ください。

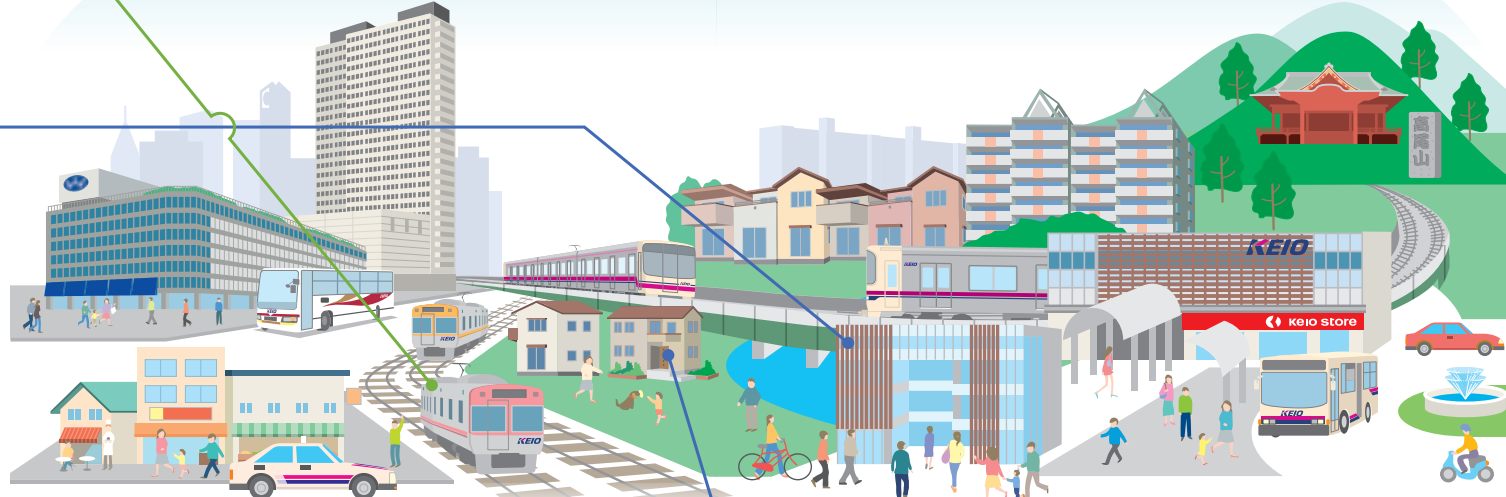
重点施策2 沿線価値の向上

「フレンテ南大沢」(新館)がオープン!

本年12月3日に南大沢駅前に複合商業施設「フレンテ南大沢」(新館)がオープンします。新規物件開発の一環として建設を進めているもので、集客施設となるお肉料理のフードテーマパーク「東京ミートレア」に出店する7店のほか、ファッションやコスメティックなどを中心に12店が集結します。



「フレンテ南大沢」(新館)【完成予想図】



※イラストはイメージです。

このほかにも魅力的な商業施設を積極的に展開しています。

京王府中ショッピングセンター「ぶらりと」

府中駅コンコースに、テイクアウトに便利な人気のショップなど9店が新規オープンしました。



京王リトナード北野(第2期)

北野駅高架下に、本年12月に新たに7店(※)がオープンします。生活利便性を高めることで、駅の魅力がさらにアップします。※一部店舗は翌年1月以降にオープンします。



北野駅と京王リトナード北野【完成予想図】

重点施策2 沿線価値の向上

「シニアセキュリティサービス」の提供エリアを拡大

京王ほっとネットワークでは、安全で安心して暮らせる街づくりを目指して開始した「シニアセキュリティサービス」の提供エリアを、本年9月に沿線全域に拡大しました。

このほか、ホームページや電話・FAXでご注文いただいた京王ストアの商品をお届けする「お買いもの代行」を、高幡不動駅・桜上水駅周辺で展開しているのはじめ、小修繕からリフォームまで対応する「住まいのサポートサービス」や、家事代行「ホームほっとサービス」など、暮らしに役立つサービスをご提供しています。



「京王ほっとネットワーク」ホームページ

ほっとネットワーク 検索

シニアセキュリティサービス

緊急通報、安否確認、話し放題の定額電話に加え、別途総合警備保障株式会社(ALSOK)と契約することで、ガードマンの駆けつけ確認サービスを組み合わせることが可能です。

お問合せ 京王ほっとネットワーク(高幡店、桜上水店)
 発信 ゴーほっと
0120-84-5410
 (営業時間 10:00~20:00)

重点施策3 競争力の強化

小型サテライト店 「京王百貨店ららぽーと新三郷店」がオープン ~グループ各社が沿線内外で新規出店を推進~

京王百貨店初の小型サテライト店となる「京王百貨店ららぽーと新三郷店」が「三井ショッピングパークららぽーと新三郷」に本年9月にオープンしました。強みである中高年層を中心ターゲットとした独自の商品政策をベースに、新たな業態で運営する将来の発展に向けた試金石としての店舗です。京王百貨店独自の商品構成・内容で編集した、大人の女性の日常生活シーンに必要な商品を、百貨店ならではのサービスとお買い求めになりやすい価格帯でご提供します。



このほか、京王プレッソイン九段下をはじめ、京王書籍販売が運営する啓文堂書店や京王観光が沿線外のエリアに新規出店し、事業の拡大を図りました。さらに、沿線の商業施設の展開にあわせてグループ各社が新規出店を図るなど、沿線エリアでの営業基盤の強化にも積極的に取り組んでいます。

グループ各社の主な新規出店状況

オープン月	店舗名	オープン月	店舗名
4月	京王観光 新宿南口営業所	9月	京王百貨店 ららぽーと新三郷店
	プレグラス 新宿南口店(京王食品)		啓文堂書店 武蔵小金井店(京王書籍販売)
5月	プレグラス 府中店(京王食品)		京王不動産 明大前営業所
	フラワーショップ京王 京王府中SCぶらりと店(京王グリーンサービス)	11月	京王アートマン 多摩センター店
	リモーネ 府中店(エリート)		プレグラス 多摩センター店(京王食品)
7月	京王プレッソイン九段下		フラワーショップ京王 京王多摩センターSC店(京王グリーンサービス)
	京王観光 用賀営業所		
	K-Shop 聖蹟桜ヶ丘店(京王リテールサービス)		

「フレンテ南大沢」(新館)に 日本初のお肉料理のフードテーマパーク 「東京ミートレア」がオープン!

「フレンテ南大沢」(新館)の5階には、日本初となるお肉料理をテーマにしたフードテーマパーク「東京ミートレア」がオープンします。沿線の皆様のレジャーニーズの充足を図るとともに、首都圏全域の幅広い年代層のお客様に楽しんでいただける施設として、全国から人気の肉料理店7店が出店します。初年度は約130万人の集客を見込んでいます。



東京ミートレア【完成イメージ】

店舗名	料理内容
近江牛卸問屋 激~GEKI~	焼肉
清まる	とんかつ
Hot Stuff	バーベキューリブ
GOLD RUSH	ハンバーグ
元祖にくまき本舗	にくまきおにぎり
東京トンテキ	トンテキ
鳥開 総本家	鶏料理

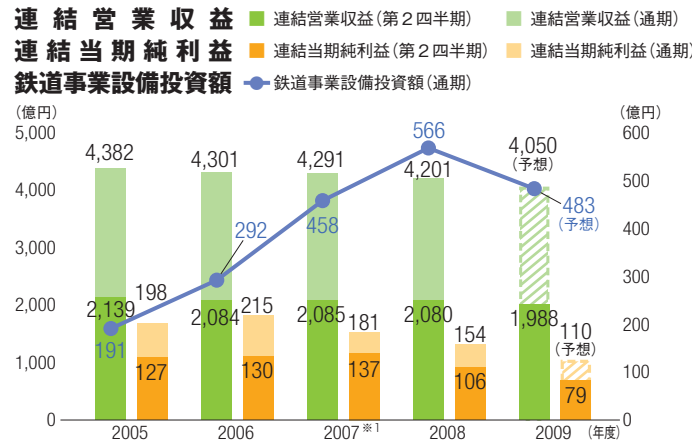
決算の概要

POINT 1 **連結営業収益が1,988億円となりました**

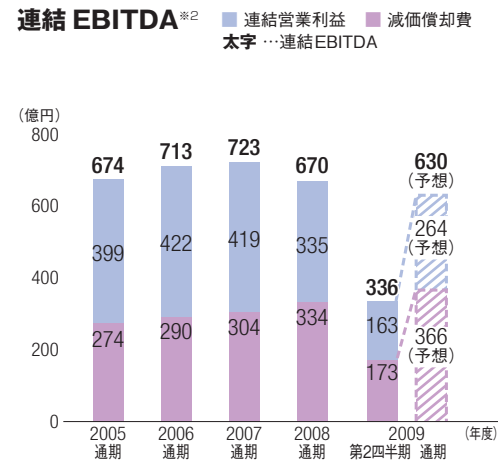
運輸業、流通業、レジャー・サービス業などが、長引く景気の悪化や新型インフルエンザ発生の影響などにより減収となったことから1,988億円(前年同期比4.5%減)となりました。

POINT 2 **連結四半期純利益が79億円となりました**

連結四半期純利益は、新造車両の導入やATC(自動列車制御装置)の整備をはじめとした、鉄道事業の安全性向上のための設備投資の進捗にともなう減価償却費の増加などにより、連結営業利益が減少したこともあり79億円(前年同期比25.4%減)となりました。



*1 2007年度をもって特定都市鉄道整備準備金取崩額(年間約23億円)の特別利益への計上は終了しました。



*2 連結EBITDA=連結営業利益+減価償却費
連結EBITDAは、営業活動によって得られたキャッシュ・フローを簡便的に示す指標です。

通期の見通し

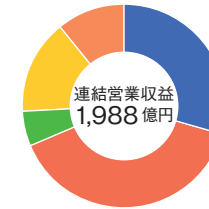
景気の悪化にともなう消費の低迷などが今後も継続するとの見通しから、連結営業収益は4,050億円(前期比3.6%減)を見込んでおります。また、連結当期純利益につきましては、鉄道事業の設備投資の進捗にともなう減価償却費の増加などがあるものの、その他の費用の削減努力などにより当初計画どおりの110億円(前期比28.8%減)を見込んでおります。

※「通期の見通し」および予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて作成したものです。従って、実際の業績はさまざまな要因により、記載の予想とは異なる可能性があります。

事業セグメント別の概況

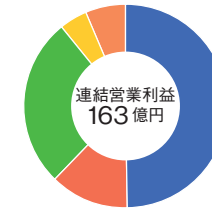
連結営業収益内訳 (構成比)

運輸業	29.7%
流通業	39.1%
不動産業	5.4%
レジャー・サービス業	15.0%
その他	10.8%



連結営業利益内訳 (構成比)

運輸業	49.8%
流通業	12.6%
不動産業	27.0%
レジャー・サービス業	4.4%
その他	6.2%



※構成比率は、事業セグメント間取引を含む営業収益および営業利益に対する比率です。

運輸業

営業収益 643億円(前年同期比 3.7%減)
営業利益 84億円(前年同期比 14.4%減)
●京王電鉄(鉄道)、京王電鉄バス、京王自動車、他 7社

鉄道事業では、沿線における大規模マンションの建設が続いているものの、景気悪化の影響などにより旅客運輸収入が前年同期に比べ1.1%減(うち定期0.8%減、定期外1.3%減)となりました。バス事業でも、路線バスで都区内・多摩地区とも減収となりました。

流通業

営業収益 846億円(前年同期比 7.3%減)
営業利益 21億円(前年同期比 36.2%減)
●京王百貨店、京王ストア、京王書籍販売、他 6社

百貨店業では、2009年9月に「三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷」内に京王百貨店初の小型サテライト店を出店するなど増収に努めましたが、景気悪化などによる消費低迷の影響が大きく、減収となりました。ストア業では、競合店の進出などもあり減収となりました。書籍販売業では、2009年9月に「啓文堂書店」武蔵小金井店がオープンしましたが、既存店の売上不振などから減収となりました。

不動産業

営業収益 117億円(前年同期比 1.4%減)
営業利益 45億円(前年同期比 4.7%減)
●京王電鉄(開発)、京王不動産、京王地下駐車場

不動産賃貸業では、2009年3月に一部取得した「日本橋小網町ビル」、2009年4月に竣工した賃貸マンション「アコルト新宿落合」が寄与したことなどにより増収となりましたが、不動産販売業では、八王子みなみ野シティおよび多摩境で販売した新築戸建住宅の販売戸数が前年同期に比べ減少したことにより減収となりました。

レジャー・サービス業

営業収益 324億円(前年同期比 10.0%減)
営業利益 7億円(前年同期比 59.4%減)
●京王プラザホテル、京王観光、京王エージェンシー、他 4社

ホテル業では、「京王プラザホテル」で宿泊需要の低迷にともなう収益性悪化などにより減収となりました。また、「京王プレッソイン」でも2009年2月に池袋、2009年7月には8号店目となる九段下がオープンしましたが、既存店舗での稼働率の低下により減収となりました。旅行業、広告代理業も取扱高の減少などにより減収となりました。

その他

営業収益 232億円(前年同期比 15.9%増)
営業利益 10億円(前年同期比 122.6%増)
●京王設備サービス、京王重機整備、京王建設、他 8社

建築・土木業では、完成工事が前年同期に比べ増加したこと、「工事契約に関する会計基準」を第1四半期連結会計期間より適用したことなどにより増収となりました。車両整備業でも受注件数の増加などにより増収となりました。

※当社は運輸業、流通業、不動産業、その他に重複して含まれています。

※事業セグメント別の概況に記載の営業収益および営業利益には、事業セグメント間取引を含みます。

第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前連結 会計年度末 2009年3月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2009年9月30日
資産の部		
流動資産	110,681	98,013
固定資産	581,410	606,593
① 資産合計	692,091	704,606
負債の部		
流動負債	167,850	177,949
固定負債	285,368	280,142
② 負債合計	453,218	458,092
純資産の部		
株主資本	234,582	240,627
評価・換算差額等	4,290	5,885
純資産合計	238,873	246,513
負債純資産合計	692,091	704,606

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

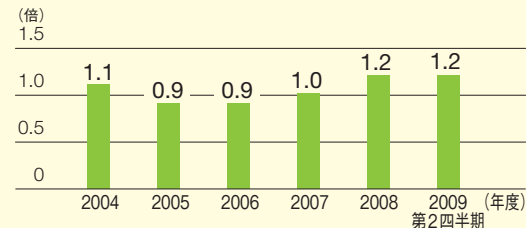
科目	前第2四半期 連結累計期間 自2008年4月1日 至2008年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自2009年4月1日 至2009年9月30日
営業収益	208,091	198,808
営業費	188,035	182,475
営業利益	20,056	16,333
営業外収益	1,550	869
営業外費用	2,968	2,890
経常利益	18,638	14,312
特別利益	161	319
特別損失	563	1,001
税金等調整前四半期純利益	18,236	13,630
法人税等	7,541	5,654
四半期純利益	10,694	7,976

(備考) 記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

高い財務の安定性を維持

有利子負債を自己資本で除したD/Eレシオ(まめ知識参照)は、企業の安全性を評価する指標で、数値が低いほど財務体質が健全であることを示します。鉄道事業の安全性向上のための設備投資の進捗などにとともに、有利子負債が増加傾向にありますが、経営基盤の強化に必要な内部留保にも努めた結果、当社のD/Eレシオは概ね1倍程度で安定的に推移しています。これは、多くの鉄道事業者が2倍以上のD/Eレシオを示す中で、当社の財務体質が極めて健全であることを示しています。

D/Eレシオの推移(連結)



① **資産合計**は、鉄道事業における設備投資の進捗による固定資産の増加などにより12,514百万円増加し、704,606百万円となりました。

② **負債合計**は、工事代金の支払いなどによる減少がありましたが、コマーシャル・ペーパーの発行などにより4,873百万円増加し、458,092百万円となりました。

③ **営業活動によるキャッシュ・フロー**は、税金等調整前四半期純利益が減少しましたが法人税等の支払額の減少などにより6,545百万円増加し、28,882百万円の資金流入となりました。

④ **投資活動によるキャッシュ・フロー**は、鉄道事業を中心とした設備投資の進捗による有形固定資産の取得などにより16,813百万円支出が増加し、49,259百万円の資金流出となりました。

⑤ **財務活動によるキャッシュ・フロー**は、コマーシャル・ペーパーの発行や前年同期にあった社債の償還がなかったことなどにより31,617百万円増加し、11,217百万円の資金流入となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 自2008年4月1日 至2008年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自2009年4月1日 至2009年9月30日
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	22,337	28,882
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,445	△49,259
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,400	11,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,507	△9,155
現金及び現金同等物の期首残高	58,167	50,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,660	41,628

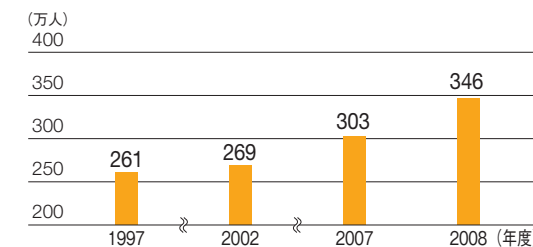
好調な伸びを示す「高尾山口駅」の乗降人員

当社沿線最大の観光地である高尾山の玄関口「高尾山口駅」の年間の乗降人員は、2008年度は346万人と1997年度に比べて約33%増加しました。2009年度上半期も前年同期の実績を約20%上回り、引き続き好調に推移しています。

これは、当社が従来から実施している「高尾・陣馬スタンプハイク」や「高尾山の冬そばキャンペーン」など各種キャンペーンの積極的なPRに加え、高尾山が各種メディアで取り上げられたことなどによる効果があったものと考えられます。

紅葉シーズンはもちろん高尾山薬王院への初詣、春の桜や新緑など、四季折々の魅力が溢れる高尾山に、ぜひお出かけください。

高尾山口駅の年度別乗降人員の推移



引き続き良好な格付けを維持

当社では、事業の効率的な運営と財務体質の強化に取り組んできました。近年は鉄道事業における安全性の向上策をはじめ、沿線価値の向上と競争力の強化に向けた諸施策などに積極的に取り組んでいます。

このように、健全な財務体質を維持しながら着実な事業展開を行っていることなどが評価され、1998年に取得した日本格付研究所(JCR)によるAA(ダブルAフラット)の格付けを、継続して得ています。

より詳しいIR情報はこちら

当社ホームページでは、投資家の皆様に役立つ情報を「IR・企業情報」のコーナーに掲載しておりますのであわせてご覧ください。

www.keio.co.jp/



ここをクリック!

D/Eレシオとは、Debt Equity Ratioの略です。自己資本に対する有利子負債の割合を表し、「有利子負債÷自己資本」という計算式で算出します。この指標は、負債への依存度の高低を見るもので、一般的には数値が低いほど負債への依存度が低く、元金の支払能力があり財務の安定性が高いとされます。長期的な財務の安定性を判断する材料として使われることが多く、格付機関が社債の格付けを決める際の重要なポイントのひとつです。

格付けは、債券の信用力や元金の支払い能力の安全性などを総合的に分析・ランク付けした信用リスクを測るための重要な指標です。格付けは「格付機関」が行います。

会社概要

(2009年9月30日現在)

会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1
資本金	590億23百万円
従業員数	2,424名

役員一覧

(2009年9月30日現在)

代表取締役会長	加藤 隼	取締役	内藤 雅浩
代表取締役社長	永田 正	取締役	林 静男
代表取締役専務	下村 良太	取締役	五味 保雄
常務取締役	松木 謙吉	取締役	志村 康洋
常務取締役	田中 茂生	取締役	山本 敏雄
取締役	宮地 徳文	取締役	鈴木 康
取締役	狩野 俊昭	取締役	春山 暁
取締役	川杉 範秋	常勤監査役	鈴木 豊明
取締役	早崎 博	常勤監査役	黒岩 法夫
取締役	石橋 三洋	監査役	久米 信介
取締役	島倉 秀市	監査役	鈴木 光春

株式の状況

(2009年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,580,230,000株
発行済株式の総数	642,754,152株
株主数	39,248名

大株主

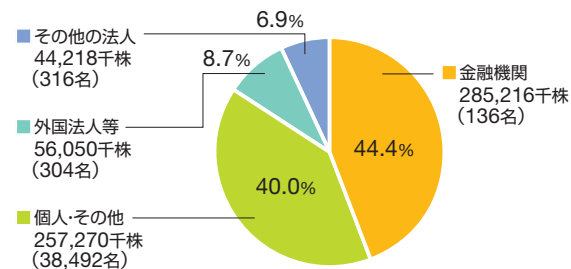
株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	44,948	7.4
第一生命保険相互会社	31,750	5.2
太陽生命保険株式会社	29,310	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,970	3.1
住友信託銀行株式会社	18,240	3.0

(注1) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除した株数に対する比率を表示しています。

(注2) 当社は自己株式を31,673千株所有していますが、上記大株主からは除外しています。

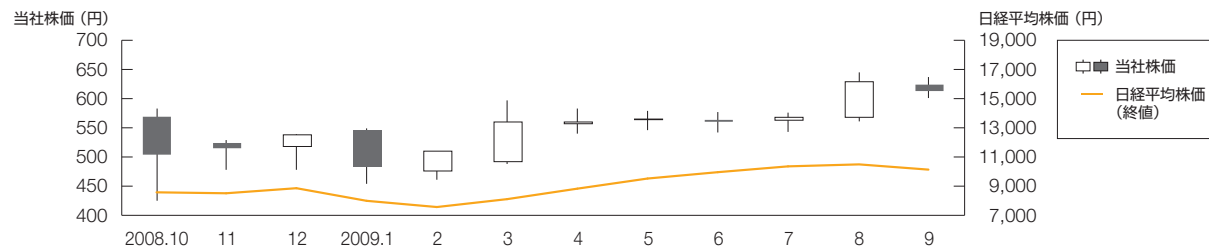
株式分布状況

(2009年9月30日現在)

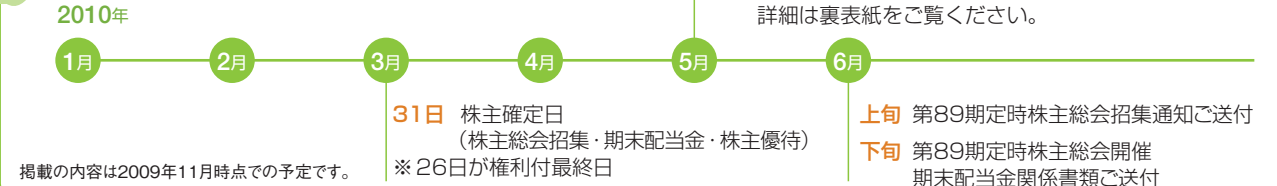


株価の推移

(2008年10月～2009年9月)



株主カレンダー



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 (株主確定日)	内容	開催日
定時株主総会議決権確定	株主優待	毎年3月31日
期末配当金および株主優待	株主優待	毎年3月31日
中間配当金および株主優待	株主優待	毎年9月30日

公告の方法 当社ホームページに掲載します。
(www.keio.co.jp/company/stockholder/koukoku/index.html)

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行 証券代行部

株式に関するお問合せ先

株式に関するお手続き（住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など）のご照会および届出につきましては、証券会社に口座開設をされているか否かによってお問合せ先が異なりますので、以下をご参照ください。

【証券会社に口座を開設されている株主様】

➡ 口座を開設されている証券会社にご連絡ください。

【証券会社に口座を開設されていない株主様（特別口座の株主様）】

➡ 住友信託銀行 証券代行部

☎ 0120-176-417 (平日9:00～17:00 土・日・祝休)

配当金の受取方法について

配当金のお受取りには、以下の4つの方式がございます。ご希望に応じてご選択ください。

A. 配当金領収証方式

当社からお送りする配当金領収証により、郵便局等でお受取りになる方法。特段のお手続きをされない場合、この方法となります。

B. 個別銘柄指定方式

銘柄ごとに指定した銀行等預金口座に振込む方法。（従来の配当金振込指定と同じお取扱いです。）

C. 一括振込方式（登録配当金受領口座方式） 株券電子化後に新設された方式です。

ご所有の全ての国内上場株式等の配当金を、ご指定の一つの銀行等預金口座に振込む方法。（ゆうちょ銀行の口座はご指定できません。）

D. 株式数比例配分方式 株券電子化後に新設された方式です。

ご所有の全ての国内上場株式等の配当金について、ご利用の証券会社ごとに、お預けになっている株式等の数に応じて、その証券会社の口座に振込む方法。

※受取方式変更のお問合せ先は上記 **株式に関するお問合せ先** をご覧ください。